

2015
4

広報～風・菜・樹

ふなき便り

● 社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

第34回 扶老会 地域交流フリーマーケット

会場の様子

4月12日(日)、第34回扶老会地域交流フリーマーケットを開催しました。

当日は春らしい陽気の下、申し込みいただいた地域の出店者様の個性溢れる品々や飲食物、よさこいや太鼓、チアリーディング等の華やかなステージイベントを目的に、多くの地域の皆様にご来場いただきました。恒例の無料豚汁サービスやビンゴゲームも行い、大盛況のフリーマーケットとなりました。

今秋の10月にも開催を予定しております。地域交流と障害者理解を広げるため、何より皆様と一緒に楽しむ場を作れるよう努めて参ります。

最後に、今回関わっていただいた皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

大盛況!



● ステージイベント! ●

地域の団体様や学生さん、そして他の障害福祉サービス事業所で活動されている当事者の皆様に、迫力の演技を披露していただきました。



● 障害福祉サービス事業部の出店! ●

たくさんの食べ物を用意し、ご来場いただいた皆様をお迎えしました。利用者さんと職員が丸となって調理、接客をしました。



新年度が動き始めました

障害福祉サービス事業部 新年度説明会



- 福祉を担う職員として、組織として、情報、意識を共有しました。

新年度を迎える為の準備や士気の向上として、私たち社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業部職員を対象とした新年度説明会を行いました。

佐伯所長から事業部の理念、各事業所ごとの事業計画、制度の変更点、また働く上で遵守すべき就業規則についての説明がなされ、参加した職員はそれぞれの項目について念入りに確認を行いました。

利用者の皆さんを支援していく上で今まで通りといった事はありえません。常に適切な支援、サービスの改善を目指して、事業部職員が一致団結して取り組んで参ります。

さくら咲く。

ケアヒルズ扶老会の
土手に咲く桜です。



スケッチは、利用者さん同士
出来を見ながら、楽しんで描
くことができました。

だんだん暖くなり、春真っ盛りです。「春」ということで、皆さんが真っ先に思いつくものと言えば「花見」ではないでしょうか。

3月31日(火)、ハイツふなきとヴィラふなきで敷地内にある桜の木の下で、花見を行いました。当日は少し陽が陰っていましたが、桜のピンク色に癒され、皆さん笑顔で会話をしていました。

せっかくなので、たくさん桜を見ていただこうと思い、スケッチを行いました。皆さん思い思いに素敵な絵を描かれ、ご満悦の様子！こうして外に出て、自然を感じながらほっこり出来るなんて…最高の時間でした！！

サムラ新作パン！



お客様の「おいしい！」という声を聞きたく、新商品を作りました。4月20日(月)より販売開始。

<バーガー、サンド>

- プレーンベーグル・・・250円
- ブルーベリーベーグル・・・300円
- 地中海の香り(オレンジ風味)・・・250円

<パン>

- よもぎパン・・・120円
- ハ女茶パン・・・150円
- いちごソフトパン・・・150円

バーガーはコロッケや白身フライ等、サンドは野菜やハム等をサンド。
3種類パンから毎日限定15個。ぜひ一度、サムラのパンを食べにお越しください！

総合防災訓練



避難訓練をし、



講評を受付。



消火の演習をしました！

3月20日(金)、消防署立ち合いのもと総合防災訓練を行いました。利用者さん、職員ともに円滑な初期消火と避難行動をとることができ、また訓練後の消火器を使った消火訓練も皆さん真剣に取り組まれていました。

“命を守る行動をとってください”

これは気象庁が特別警報を発令した場合に、注意喚起を促す時に使われる言葉です。気象災害に限らず、火災においても命を守る行動をとることが基本です。そして、当事業所のように大勢の人が集団生活を送っている場において一番大切なのは、どのような状況においても一人の犠牲者も出さないことです。

今後も全員が命を守る訓練を繰り返し行って参ります。

サムラ家族会



ご家族と一緒に昼食を食べました！



新年度体制の説明。



仕事時の姿をスライドで紹介しながら想いを発表しました！

3月22日(日)、サムラの第7回となる家族会を開催しました。

昨年度は管理者の交代や副管理者の着任などサムラにとって変化の年となりました。その為初心に帰るべく、初年度行ったようにサムラの利用者に今サムラでどのような作業を行っているのか、実際に発表してもらうことにしました。3名の方に発表していただいたのですが、発表された利用者は今回の担当者が今作業で頑張っていることを尋ねたところすぐに2～3個返事が返ってくる位今回の発表に対して熱心に取り組んでいただきました。発表の際には緊張から声が震えていたのですが、保護者の前で立派に成長された姿を見せることが出来ました。

また平成27年度のサムラの体制等について説明を行った後に、今回参加していただいたご家族の方からも自己紹介を兼ねて一言ずつご挨拶を頂きました。サムラはレストランという環境の為、来所しやすいとのご意見も頂き、更に地域に開かれた事業所として事業を運営し、皆様のおかげで10周年を迎えられたことに感謝の気持ちを持って邁進していきたいと思ひます。

新たな力を育んで・・・！

宇部フロンティア大学
実習生の受け入れ



● 利用者さんと会話をする実習生の竹内さん。

障害福祉サービス事業部では、将来の医療・福祉に携わる人材の育成の為、実習生の受け入れを積極的に行っています。

今回、宇部フロンティア大学4年生1名が2月中旬～3月中旬までの約1ヶ月間実習に来られました。実習を終えた感想を伺った所、「実習のテーマに挙げていた利用者の強みに着目した支援について理解する事ができ、利用者が支援者と共に成長していく姿がみられて良かった。まだ関わって間もない利用者さんに名前を呼んでもらえた事がとても印象的だった」と話されていました。

積極的に利用者さんに関わり学ぼうとする姿勢は、職員も大変勉強になりました。実習生を受け入れる事は、事業所にとっても業務に対する意識の喚起にもなる為、今後も協力して参ります。

合同ネットワーク会議



3月13日(金)、生活支援センターふなき主催の平成26年度第2回合同ネットワーク会議が行われました。合同ネットワーク会議では、圏域の精神科病院や行政機関、相談支援事業所、就労支援事業所など多くの関係機関の方々にご参加いただきました。

生活支援センターからは圏域相談や計画相談などの相談支援事業、日中一時支援事業の実績と現状報告、地域移行支援事業、地域定着支援事業の取り組みや現状について報告させていただきました。また、関係機関の皆様と情報提供や情報交換も行いました。

特に昨年度は精神保健福祉法の一部改正もあり、当事業所では地域移行支援、地域定着支援にも力を入れて取り組みましたが、必ずしも退院に結びつくケースばかりではなかったため、今後はさらに医療と福祉の連携が求められます。

お忙しい中、合同ネットワーク会議にご参加いただきました関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。

今月のエソラゴト

平成27年度が始まりました。冬から春への移り変わりが、日本の四季の中でも私は一番好きです。筈に日に新たに、日々新たに、又日新たり...というように、昨日よりも今日、今日よりも明日と、日々心新たに自分自身を成長させないといけない訳ですが、特に春というのは、新しい環境や立場になり、新しい仲間を得て、そして新しい挑戦を行う、など様々な節目が訪れる季節であり、自分自身をリセットして、新鮮な気持ちでリスタート出来るチャンスなのです。この季節の使い方で、その一年の行く末が決まるといっても過言ではないかもしれません。ここでしっかりと、今年度の目標を定めて、今の新鮮で前向きな気持ちを維持していく必要があります。

とはいえ、私自身に置き換えると、毎年、年度末から年度初めは色んな業務に忙殺されて、なかなか自分を見つめることが出来ないでいます。組織を束ねる立場の者として、自分を見つめることが出来ずに、組織を見つめることは出来ないと思います。あらためて、自身のマネジメントやリーダーシップを高める以前に、ベースとなる人間性や教養をもっともっと磨かなければと強く思っています。

思えば、私にとって今年は色々と節目の年になります。まずは、扶老会にお世話になって今年で丸15年を迎えました。畑違いの仕事から右も左も分からないまま福祉の世界に飛び込んだ私を当初から支えて頂いたのは他でもない利用者の皆様です。新人時代、職員よりも、利用者さんから学んだこと、利用者さんと過ごした時間の方が圧倒的に多かったですし、今でも私にとって大切な財産です。そして、所長という立場になり、マネジメント業務を行うようになって、10年になります。若輩の自分には荷の重い役でしたが、周りの方々のおかげで、何とか10年やってきました。経験不足、力不足で、多くの人に迷惑を掛けてきたと思いますし、自分自身も幾度となく辛い経験もさせて頂きました。多くの素晴らしい方々との出会いもありました。全て、今の自分の糧となっています。現在は、4事業所の所長兼務という傍から見ればサーカスのようなことをしていますが、自分にとっては相談から就労、居住、自立訓練と幅広い視野で障害福祉全体を見渡せる立場に就かせて頂き、とても有り難いことだと思っています。あと、県内の協議会等の団体の活動にも多く携わらせて頂いており、これもいい勉強をさせて頂いております。

15年前には想像も出来なかった軌跡を歩んで参りましたが、これからは今まで経験させて頂いたことを大いに活かし、育てて頂いた利用者さん、拾って頂いた扶老会、そして地域社会にたくさんの恩返しをして参りたいと思います。厄年は終わりましたが、“役年”は一生と思っています。「歩歩是道場」、「日日是好日」で尚一層精進して参りますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

(佐伯)

CHECK!



扶老会

検索

〒757-0216 山口県宇部市大字船木 833

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

- ハイツふなき (0836)67-0188
- ヴィラふなき (0836)67-1883
- 生活支援センターふなき (0836)67-2464
- サムラ(レストラン・パン工房) (0836)67-0171

自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
グループホーム（介護サービス包括型）
相談支援事業・日中一時支援
就労移行支援・就労継続支援B型

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ

<http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>